



さくら便り

31号

令和4年6月

「さくらの会」は毎月月初めの日曜日に行っています境川堤のごみ拾い、5月は雨の為中止させて戴きました。5月22日（日）自治会員有志の皆様のおかげで、境川堤もすっきりしました。本当に有難うございました。桜管理に大変役に立ちます。高田橋の西岸の桜木が1本葉を付けていません。心配です。専門家に聞いてみます。

（散歩の友） 今回は新加納宿について書かせて戴きます。中山道、江戸と京都間は536 Km,その間に67の宿場が設けられました。この辺りの宿場は加納宿と鶴沼宿です。加納宿と鶴沼宿の間は17 Kmもあり、中山道の宿場間としては最も長いものでした。それで旅人の休息所として新加納宿（間の宿）が設けられました。旅人は勿論、人足や荷馬の休息所として利用されました。宿泊所も梅村屋敷として、皇女和宮も休息した宿もありました。現在の道路がV字型になっている所に一里塚跡があります。西は六軒、東は細畑に一里塚があり、その間です。高札場跡もあります。江戸期この土地は、関ヶ原の戦いで功績のあった坪内氏（6530石）の旗本が治めていました。今でも宿の入口は枡形（かぎ状道路）があり、軍事上の名残りでしょうか。近くには「げえろ祭り」で知られている日吉神社があります。ひょうたん池に大きな蛙が住みつき、村人がいたずらされない為、ご馳走を池に投げ入れたと由来を伝えています。又、尾張徳川家の鷹狩の休息所として使用された善休寺、坪内氏の菩提寺の少林寺などがあります。最近、少林寺の南側に「新加納陣屋公園」が整備されました。少林寺の敷地はかなり広く、こんな所をのんびりと散策するのも良いものです。桜木は一本もありませんでした。（笑） 昨年、私は鶴沼宿から加納宿まで歩いてみたのですがかなりきついものでした。数日間は足の痛みを覚えました。皆様ほどほどに。